



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



GOVERNOR

Mamoru Jo

OFFICE

Kobe Portopia Hotel
722,6-10-1,
Minatojima-Nakamachi,
Chuo-ku,
Kobe,Hyogo,
650-0046,Japan

UNITE FOR GOOD

ロータリーの行動計画

私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。
より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

より大きな インパクト をもたらす	参加者の 基盤を 広げる	参加者の積極的な かかわりを 促す	適応力を 高める
<ul style="list-style-type: none">ポリオを根絶し、残された遺産を活用するロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる活動成果を挙げ、それを測る能力を高める	<ul style="list-style-type: none">会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化するロータリー参加の新しい道筋を創り出すロータリーの開放性とアピール力を高めるインパクトとブランドに対する認知を築く	<ul style="list-style-type: none">クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供するリーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する	<ul style="list-style-type: none">研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築くガバナンス、構造、プロセスを合理化する意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

2680地区行動計画 (2023-2026年)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">ロータリー財団補助金を活用し、地域社会や世界で良い変化を生み出すインパクトのある奉仕プロジェクトを実践する。(ロータリー財団、社会奉仕、国際奉仕、奉仕プロジェクト)ロータリーのブランドと公共イメージの向上に努める。(公共イメージ、DX推進小) | <ul style="list-style-type: none">クラブの会員組織強化に努め、仲間を増やす。(会員維持増強、クラブ管理運営)多様な人々の参加を促し、DEI (多様性・公平さ・インクルージョン) を実現する。(DEI)青少年の活動を支援し、若いリーダーの育成に努める。(青少年奉仕、米山記念奨学、学友、ローターアクト) | <ul style="list-style-type: none">全クラブが将来のビジョンや行動計画を策定する。(行動計画)My ROTARYの登録を推進し、積極的に活用する。(クラブ管理運営、DX推進小)地区やクラブが実施する行事やセミナーに積極的に参加し、感動的な体験を積み重ね、ロータリーの理解を深める。(ラーニング) | <ul style="list-style-type: none">オンライン技術の能力を高め、社会の変化に迅速に適応する。(クラブ管理運営、DX推進小)ハラスメントのない環境作りに努める。(クラブ管理運営、危機管理) |
|--|---|---|--|

2025-26年度の表紙

西播第2グループガバナー補佐

著 法 岳 (上郡佐用)

今月の表紙説明

「春の華と秋の葉」

「形、山水に静かなり。神(こころ)、煙霞に王たり。春の華、錦を織れば、之に対して(むかって)情(こころ)を陶げ(やわらげ)、秋の葉、帷(とぼり)を散ずれば、之を見て帰ることを忘る。」(贈玄賓法師勅書) 空海さんの文章の中にも、「春の華」と「秋の葉」が季節の移り変わりを示し、心に染み入る様が表現されています。

CONTENTS

GOVERNOR'S LETTER	1
2025学年度ロータリー米山記念奨学生修了式・歓送会	3
公共イメージ委員会「メディア交流会」	3
第46回RYLAセミナー	4
阪神第3グループIM	6
阪神第2グループIM	6
2026年会長エレクト・ラーニングセミナー(PELS)	7
2026年次期幹事・ラーニングセミナー(SELS)	9
コーディネーターNEWS 2026年4月号	10
新会員のご紹介	12
ご寄付ありがとうございます	12
訃報	13
3月の地区活動記録	13
会員数報告	

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ会長・幹事 そして会員の皆さま



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 城 守 (姫路)

— 青少年奉仕の意義を 改めて考える —

ロータリーの五大奉仕の一つである「青少年奉仕」は、未来を担う若者の成長を支え、地域社会と世界の持続的な発展に寄与する極めて重要な取り組みです。青少年奉仕月間にあたり、地区内の皆さまとともに、その意義と可能性について改めて考えたいと思います。

ロータリーは創設以来、一貫して次世代の育成を使命として掲げてきました。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAなど、多様なプログラムを通じて、若者が自らの可能性に気づき、社会に貢献する力を育てています。これらの活動は単なる支援ではなく、若者とロータリアンが共に学び、共に成長する「共創の場」であり、ロータリーの未来を支える基盤でもあります。

2680地区（兵庫）と2670地区（四国）の絆 が生むRYLA（Rotary Youth Leadership Awards）

当地区における青少年奉仕の象徴的な取り組みの一つが、2680地区と2670地区の合同によるRYLAセミナーです。地区の枠を越えたこのプログラムは、若者たちに広い視野と深い学びを提供し、リーダーとしての自覚と責任を育む貴重な機会となっています。

異なる地域から集まった参加者が交流し、価値観を共有し、互いに刺激を受けながら成長していく姿は、「UNITE FOR GOOD（よいことのために手をとりあおう）」の精神を体現するものです。地域と世代を超えたつながりが、ここから生まれています。

先達の情熱が築いたプログラム

この今年で46回目を迎えたRYLAセミナーの発展の背景には、多くの先達のご尽力がありました。とりわけ、元国際ロータリー理事である今井鎮雄パストガバナー、そして深川純一パストガバナーのご貢献は誠に大きく、確固たる3泊4日の本プログラムの礎を築いてくれました。

お二人の長年にわたる情熱とご指導があったからこそ、RYLAは単なる研修を超え、若者の人生観や価値観に深い影響を与える場へと発展してきました。ここに改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

小豆島から神戸へ — 新たなステージへ

今年度まで、このRYLAセミナーは小豆島（余島）で開催されてきました。自然豊かな環境の中で、参加者は日常を離れ、自らと向き合い、仲間と語り合うことで、深い学びと気づきを得てきました。

次年度からは神戸市北区での開催が計画されています。国際性と多様性に富む神戸という都市は、新たな出会いと学びを生み出す舞台となるでしょう。小豆島で培われた精神を継承しつつ、さらなる進化が期待されます。

ローターアクトの進化と新たな役割

近年、ローターアクトは大きな転換を迎え、ロータリアンと同格のパートナーとして位置づけられるようになりました。これは、若い世代が主体的にロータリーの活動を担い、共に組織を創り上げていく時代の到来を意味しています。

ローターアクトクラブは、地域社会に密着し

た奉仕活動に加え、国際的なネットワークを活かした取り組みや新たな社会課題への挑戦など、非常に幅広い分野で活躍しています。その柔軟な発想と行動力は、ロータリーに新しい価値と活力をもたらしています。

青少年交換がもたらす「人生を変える経験」

青少年交換プログラムは、ロータリーの青少年奉仕の中でも特に大きな影響力を持つ取り組みです。参加する若者にとって、それは単なる海外留学ではなく、「人生を変える経験」となることが少なくありません。

異なる文化や価値観の中で生活することは、決して容易なことではありません。言語の壁、生活習慣の違い、人間関係の構築など、多くの困難に直面します。しかし、その一つひとつを乗り越える過程で、若者は自らの殻を破り、大きく成長していきます。

彼らは、多様性を受け入れる力、他者を尊重する姿勢、そして困難に立ち向かう強さを身につけます。それは、単なる知識ではなく、実体験に裏打ちされた「生きる力」であり、将来にわたって大きな財産となるものです。

受け入れがもたらす地域への価値

青少年交換のもう一つの大きな意義は、「受け入れ」にあります。海外からの学生を迎え入れることで、ホストファミリーやクラブ、地域社会そのものが多様な文化に触れ、新たな視点を獲得することができます。

家庭の中で共に生活し、日常を共有することで、言葉を越えた理解と信頼が育まれます。このような経験は、単なる国際交流を超え、人と人との深い絆を生み出します。

青少年交換は、参加する学生だけでなく、関わるすべての人々に変化と成長をもたらす「双方向の学びの場」と言えるでしょう。

平和への礎としての青少年交換

青少年交換は、ロータリーが長年取り組んできた平和構築の実践でもあります。異なる文化や価値観を理解し、互いを尊重する経験は、争いを未然に防ぐ大きな力となります。

若い世代が国境を超えて友情を育み、相互理解を深めることは、将来の国際社会において非

常に重要な意味を持ちます。その一人ひとりの経験の積み重ねが、持続可能な平和の礎となっていくのです。

インターアクトクラブが担う最初の一步

インターアクトクラブは、若者が初めてロータリーの理念に触れる大切な入り口です。地域社会での奉仕活動を通じて、「人のために行動する喜び」を体験し、その価値観を育んでいきます。

この経験は、やがてローターアクト、そしてロータリーへとつながり、世代を超えた奉仕の継承を支える基盤となります。

若者ととともに歩むロータリー

私たちロータリアンに求められているのは、若者を支援するだけでなく、共に歩むパートナーとして関わることです。若者の声に耳を傾け、その発想を尊重することで、新たな価値と可能性が生まれます。

今年度の地区行動指針

「TAKE ACTION TOGETHER! MAKE INNOVATION! (手に手つないで 革新的な行動をしよう)」

は、青少年奉仕の本質を端的に示しています。

未来をともに創るために

青少年奉仕は、未来の社会を創る営みです。若者たちがロータリーの価値観を体得し、やがて社会のリーダーとして活躍することは、私たちの大きな願いです。

青少年奉仕月間が、地区内すべてのクラブにとって若者との関わりを見つめ直し、新たな行動へとつながる契機となることを願っております。そして、「UNITE FOR GOOD」の精神のもと、世代と地域を超えて手を取りあい、より良い未来を共に築いてまいりましょう。

若者たちの無限の可能性を信じ、ともに未来を創り上げていく。その歩みを、これからも皆さまとともに力強く進めてまいりたいと思います。

引き続き、青少年奉仕へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025学年度ロータリー米山記念奨学生修了式・歓送会

3月14日(土) ◆神戸第一楼 参加人数：83名

米山記念奨学委員長 竹内 博 (西宮)

短い期間ながら、カウンセラーや多くのロータリアンの愛情を受け、人前での日本語卓話など初めての貴重な体験を数多く経験しました。2025学年度ロータリー米山記念奨学生も、今月奨学期間を終了するため修了式・歓送会を開催しました。

当日は奨学生、カウンセラーに加え、8校の大学から12名の指導教官および留学生担当者の皆さまにもご参加いただき、総勢83名となりました。ロータリー米山記念奨学会吉岡博忠理事より修了奨学生に修了証書を、城守ガバナーより修了奨学生カウンセラーに感謝状をお渡しし、祝辞をいただきました。

奨学生にとって一生忘れることのない、ロータリアンからいただいた「深い愛情と奉仕の

心、平和への想い」を世界中の多くの人達に伝え、平和の輪を広げながら、世界の様々な分野で活躍されることを願い送り出しました。カウンセラーの皆様には心より感謝申し上げます。



公共イメージ委員会「メディア交流会」

3月25日(水) ◆神戸三宮東急REIホテル 参加人数：40名

公共イメージ委員長 橋本 雅彦 (姫路東)

さる3月25日、神戸三宮東急REIホテルにおいて、公共イメージ委員会主催で城守ガバナーをはじめとした地区役員、会員維持増強委員会、社会奉仕委員会、またクラブからの参加も含めて30名のロータリアンと県内主要マスメディア10社を招いての交流会を開催しました。事前にメディアの方々には当地区で実施した過去6年分の地区補助金事業のリストを配布していたこともあってロータリーの奉仕事業につい

での関心も高く、城ガバナーによる挨拶、喜多美雄社会奉仕委員長の補助金の仕組みや事業例の紹介に続いて、立食での懇親会では活発な意見交換がされていました。記事として取り上げるには単なる寄付事業ではなく、かかわった人たちがどのように変わったかなどのストーリーがあった方が取り上げやすい、次年度の事業についても情報が欲しい等の意見や要望もいただき有意義な会となりました。



城守ガバナー挨拶



マスメディア代表 糸博様によるご挨拶



懇親会(名刺交換タイム)



第46回RYLAセミナー

3月12日(木)～15日(日) ◆国民宿舎小豆島 参加人数：109名

RYLA小委員長 **吉井 久美子** (HYOGO REC)

2026年3月12日(木)から15日(日)までの3泊4日、香川県小豆島の「国民宿舎小豆島」において、第46回RYLAセミナーを2670地区との共同開催にて実施いたしました。



	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
3/12 (木)								集合	開講式オリエンテーション 講演 講師 三木 明氏	キャビン タイム	オープニング パーティー	キャビンタイム ロータリアンの夕べ					
3/13 (金)	朝食	カウンセラー ミーティング	講義-1 講師 高山 良二氏	昼食	講義-2 講師 今泉 志奈子氏	思索の 時間	レクリエーション	夕食	バズセッション ロータリアンの夕べ								
3/14 (土)	朝食	カウンセラー ミーティング	バズセッション		昼食	バズ 集約	フォーラム フォーラムリーダー 安行 英文氏 黒田 建一氏	グ タ ル イ ム	夕食	カウ ン シ ル フ ァ イ ア	キャビンタイム						
3/15 (日)	朝食	カウンセラー ミーティング	講義-3 講師 大内 晋二氏	閉講式 感想文 記念撮影	昼食	学友会 紹介	解散										

当地区にとって聖地ともいえる余島を望む恵まれた環境のもと、受講生40名が4班に分かれ、当地区独自のプログラムに取り組み、充実した学びの時間を過ごしました。

上記のプログラムを通じて受講生同士が主体的に対話を重ね、相互理解と自己発見を深め、最終日には笑顔で手を振りながらそれぞれの地域へと帰っていく受講生を見送り、本セミナーを無事終了することができました。



講義風景

本年度は昨年に引き続き同会場での開催となりましたが、2670地区主幹の年であったことに加え、例年レクリエーションを担当していただいている顧問不在での運営など、委員会としても新たな体制での実施となりましたが、役割分担や連携の重要性を再認識するとともに、安全かつ有意義なセミナー運営のあり方について、今後活かすべき多くの学びを得ることができました。



レクリエーション風景



カウンスルファイヤー風景



講師：認定NPO法人
国際地雷処理・地域復興支援の会
代表 高山 良二氏



講師：愛媛大学法文学部
人文社会学科教授 今泉 志奈子氏



講師：大内 晋二氏
(神戸須磨)

講師の先生方からは、ご自身の経験や学びを惜しみなくお伝えいただきご講義をいただきました。

またフォーラム発表においては、発表後も受講生同士が何度も意見を交わし、活発なディスカッションを重ねる中で、それぞれが主体的に発言する機会を持つことができました。

なお、次年度の第47回RYLAセミナーにつきましては、「国民宿舎小豆島」の施設が利用できなくなることを受け、神戸市にある「しあわせの村野外活動センターあおぞら」を候補地として、現在準備を進めております。これまで培ってきた本セミナーの価値を継承しつつ、新たな環境の中でさらなる充実を図ってまいります。



フォーラム風景

本セミナーの開催にあたり、城ガバナーをはじめ地区関係者の皆様、RYLA顧問・委員の皆様、カウンセラー、受講生をご推薦いただいたスポンサークラブの皆様、ロータリアンならびに関係者各位、RYLA学友会、そして第2670地区の皆様にご多大なるご協力を賜りました。また、大変ご尽力いただきました国民宿舎小豆島の高橋支配人をはじめ施設関係者の皆様には、運営面においても多大なるご支援をいただきました。ここに改めて心より感謝申し上げます。

最後に受講生一人ひとりにとって本セミナーが人生の礎となり、未来のリーダーとしての歩みにつながることを願い、ご報告とさせていただきます。



集合写真

阪神第3グループIM

3月21日(土) ◆ザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテル 参加人数：116名

阪神第3グループガバナー補佐 **西上 俊彦** (三田)

2026年3月21日(土)13時よりザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテルに於いて開催しました。城守ガバナー、三木健義代表幹事をはじめグループ内のパストガバナー、同期のガバナー補佐様多数ご出席いただき誠にありがとうございました。感謝です。今回IMのテーマは「未

来のロータリーについて」各クラブ会長様より発表していただき、ファシリテーターは当クラブ安行英文会員より進行役として、また世界のロータリーについて説明等していただきました。自クラブの色々な思いが出て今後のクラブ運営に役に立ったのではないのでしょうか。



阪神第2グループIM

3月28日(土) ◆ホテルヒューイット甲子園 参加人数：103名

阪神第2グループガバナー補佐 **溝井 康雄** (芦屋川)

2026年3月28日、阪神第2グループIMを6RC会員と来賓計103名が参加し、ホテルヒューイット甲子園で開催した。各クラブとローアクトの垣根を越えた親睦と奉仕理念の学びを目的に企画。会員減少が続く中、6RC 220名がワンチームとなり12年ぶりに職業相談にも活用で

きる名簿を刷新した。テーマ「平和を考える」のもと、ICU新垣修教授が平和の歴史と平和フェローの活動を講演。続く討議では平和を脅かす要因とロータリーの平和活動を議論した。懇親会では滝川第二高校吹奏楽部の演奏や合唱で一体感が生まれ、盛会のうちに閉会した。



《 第二日目 》

日時：2026年3月15日(日)10:00～16:00
 場所：ホテルモントレ姫路 ラフェスタ
 司会：山根 章(姫路東)

9:30	受付		
10:00	開会	テーブルディスカッションの実施にあたって 次期地区ラーニングファシリテーター 矢野 宗司(加古川中央)	
	テーブルディスカッション①	テーマ：会員維持・増強の工夫について	
	テーブルディスカッション②	テーマ：積極的な参加を促す 例会の出席率向上のためには	
12:00	昼食		
12:50	テーブルディスカッション③	テーマ：DEI 居心地の良いクラブ作りと理想のクラブのあり方	
	クラブの行動計画について	行動計画委員長 安行 英文(三田)	
	国際ロータリーの変革と地区の現状について ならびにクラブ活性化に向けて	次期地区ラーニングファシリテーター 矢野 宗司(加古川中央)	
	地区予算案について	次期地区財務副委員長 友久 康弘(姫路東)	
	地区主要行事日程ほか事務連絡	次期代表幹事 山根 章(姫路東)	
	閉会挨拶	ガバナーノミニー 田中 正喜(尼崎東)	
	閉会点鐘	ガバナーエレクト 白井 務子(姫路東)	
16:00	閉会		

2日目に入ると、少しお疲れになった姿も窺えましたが、矢野次期地区ラーニングファシリテーターからのプログラム「テーブルディスカッション」の案内の後、次年度ガバナー補佐の皆様がファシリテーターとなり、午前中に2セッション、午後から1セッションと合わせて3セッションのディスカッションが行われました。

各テーブルテーマに合わせて色々な意見が飛び交い、特に印象に残ったのが多くのテーブルから聞こえる「笑い声」ファシリテーターの思いが皆様に通じ緊張がほぐれ、心が和らいで思わず出た笑い声だと気づく場面が有りました。

そして、テーブルディスカッション終了後は、安行英文2025-26年度行動計画委員長・第3地域ロータリー財団地域コーディネーターに「クラブの行動計画について」と題し講話をいただき、最後のプログラムとして、矢野次期地区ラーニングファシリテーターから「国際ロータリーの変革と地区の現状並びにクラブ活性化に向けて」の講話をしていただきました。

2日間の全てのプログラムを終え最後に田中正喜ガバナーノミニーに締めめの挨拶をいただ

き、白井ガバナーエレクトの閉会点鐘で会長エレクトの皆様が緩んだような印象が有りました。

各クラブに於いて素晴らしい奉仕活動が行われ、地区全体を明るく照らす原動力となる事を願い、会長エレクトの皆様、次年度ガバナー補佐の皆様そして、スピーカーとしてお越しいただいた皆様に心より感謝申し上げます。



1日目「クラブ会長の役割と責務」
 矢野宗司
 次期地区ラーニングファシリテーター



2日目「クラブの行動計画について」
 安行英文
 第3地域ロータリー財団地域コーディネーター
 2025-26年度行動計画委員長



2日目「国際ロータリーの変革と地区の現状について並びにクラブの活性化に向けて」
 矢野宗司
 次期地区ラーニングファシリテーター

2026年次期幹事・ラーニングセミナー (SELS)

3月29日(日) ◆ホテルモントレ姫路

次期代表幹事 **山根 章** (姫路東)

Rotary District 2680		2026年 次期幹事ラーニングセミナー	
プログラム			
日時: 2026年3月29日(日) 10:00~17:00			
場所: ホテルモントレ姫路 ラフェスタ			
司会: 山根 章 (姫路東)			
9:30	受付		
10:00	開会点鐘	ガバナーエレクト	白井 務子 (姫路東)
	「君が代」「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	中山 弥生 (姫路東)
	配付資料確認		
	出席者紹介	次期副代表幹事	郡山 佳也 (姫路東)
	開会挨拶	次期地区ラーニングファシリテーター	矢野 宗司 (加古川中央)
	挨拶	ガバナー	城 守 (姫路)
	RI 会長メッセージおよび地区運営方針	ガバナーエレクト	白井 務子 (姫路東)
	幹事の役割と責務	次期クラブ管理運営委員長	武本 正照 (尼崎北)
----- 休憩 (40分) -----			
12:30	テーブルディスカッションの実施にあたって	次期地区ラーニングファシリテーター	矢野 宗司 (加古川中央)
	テーブルディスカッション①	テーマ: 会員維持・増強の工夫について	
	テーブルディスカッション②	テーマ: クラブ運営における幹事の役割	
----- 休憩 (15分) -----			
14:45	テーブルディスカッション③	テーマ: DEI 居心地の良いクラブをつくるための幹事の役割	
	国際ロータリーの変革と地区の現況	次期地区ラーニングファシリテーター	矢野 宗司 (加古川中央)
	地区主要行事日程ほか事務連絡	次期代表幹事	山根 章 (姫路東)
	閉会挨拶	ガバナーノミニ	田中 正喜 (尼崎東)
17:00	閉会点鐘	ガバナーエレクト	白井 務子 (姫路東)



白井務子ガバナーエレクト

去る3月29日(日)、次年度のクラブ運営の要となる2026年次期幹事・ラーニングセミナー (SELS) を「ホテルモントレ姫路」にて開催いたしました。

本セミナーは従来の講義中心のスタイルではなく、参加者主体のファシリテーション形式で行われ、最初に白井務子ガバナーエレクトの開会点鐘に始まり、中山弥生ホストクラブソング

リーダーのもと奉仕の理想の斉唱、次に矢野宗司次期地区ラーニングファシリテーターと城守ガバナーに挨拶をいただきスタートしました。

最初のプログラムでは、白井ガバナーエレクトが「2026-27年度RI会長メッセージ及び地区運営方針」を発表され、次に武本正照次期クラブ管理運営委員長より「幹事の役割と責務について」の講話をいただきました。特に印象に残ったのが、白井ガバナーエレクトのRI会長メッセージはもちろんの事ながら、武本次期クラブ管理運営委員長の講話の中で幹事の有り方・方向性の話があったのですが、『一人で頑張りすぎると幹事ではなく修行になります』

『大丈夫ですと言った後に少し心配になるのが幹事です』の言葉が心に刺さり、『“これは自分がやらなくては” “これも自分がやらなくては” の様に幹事が「何でも確認センター」にならず、何事も一人で抱え込まず、周りに相談し、物事を進めていく、ロータリーは修行の場ではありません、どうか相談して下さい』という言葉が心に深く残りました。

午後からは、次期ガバナー補佐がファシリテーターとなり「会員維持増強・増強の工夫」「クラブ運営における幹事の役割」「居心地の良いクラブを作る為の幹事の役割」と3つのテーマで、ファシリテーションが行われ、どのテーブルも時間がたつのを忘れるくらい盛り上がり、ファシリテーションの素晴らしさを改めて実感致しました。

プログラム最後に矢野次期地区ラーニングファシリテーターから「国際ロータリーの変革と地区の現況」と題し講話をいただき、田中正喜ガバナーノミニの締めのご挨拶でセミナー閉会の運びとなりました。

次期幹事の皆様、次期ガバナー補佐の皆様、武本次期クラブ管理運営委員長、そして開催にご尽力をいただいた皆様に感謝申し上げます。



第1地域 行動計画推進リーダー 菅原 裕典（仙台泉RC）



私は第1地域 行動計画推進リーダー（APC）として、各地区、クラブまでロータリーの「行動計画（Action Plan）」を浸透させるべく携わってまいりました。本稿では、行動計画を各クラブ単位まで確実に浸透させるサポートをするための「クラブサポートミーティング」について触れてみたいと思います。

ここ数年で社会環境や会員の価値観は大きく変化しました。コロナ禍を経て、例会の形態、参加動機、奉仕のあり方が多様化しています。国際ロータリーが掲げる「より大きなインパクトをもたらす」は、単なる会員数の増加だけでは達成できません。

継続性・適応力・包摂性を兼ね備えたクラブ運営が求められており、クラブサポートミーティングは各クラブの運営や課題を支援したり、具体的に相談したりする定期開催の会合です。

クラブサポートミーティングには、大きく分けて3つの目的があります。

1. 現状把握と課題共有
会員数、維持率、出席率、プロジェクト数などの定量データと、参加意欲や満足度といった定性情報を可視化します。
2. 戦略的支援の提供
単発の助言に留まらず、3年目標（3-Year Rolling Goals）など中長期の視点でクラブの成長計画を共に描き、年次レビューで柔軟に修正します。
3. 成功事例の横展開とリソース連携
有効な施策を他クラブへ展開し、人的・物的リソースを最適に配分することで、地域全体のインパクトを高めます。

これらを通じて、地区・地域組織は「数字だけを追う管理者」ではなく、クラブの伴走者として機能することが期待されます。

次に、ミーティングで扱うべき具体テーマと進め方についてまとめてみましょう。

- ベースラインデータの確認
会員数、維持率、出席率、プロジェクト数、参加者属性を共有し、クラブごとの現状を共通認識にします。

- 3年ローリング目標の策定支援
会長、会長エレクト、会長ノミネーを交え、定量的な3年目標と年次KPIを設定します。
- パイロット施策の設計と評価
小規模で試行し、データと参加者フィードバックで改善するサイクルを回します。
- 若手・多様層の参加促進
衛星クラブやロータリーアクトとの連携、柔軟な例会形態の導入など、包摂性を高める具体策を検討します。
- 広報と可視化
成功事例を地域内外に発信し、参加機会を増やすための広報支援を行います。
運営のポイントとしては、事前に簡潔なデータシートを配布し、ミーティングは「診断→提案→合意→実行計画」の流れで進めることです。年次レビューの結果は次年度計画に必ず反映させることが重要です。

既存クラブの文化や価値観を短期間で変えることは容易ではありません。そこで、衛星クラブやロータリーアクトクラブの創設は、包摂性を実現する有力な手段です。若年層や多様な背景を持つメンバーを受け入れ、彼らの力で地域課題に取り組んでもらうことで、ロータリー全体のブランドと地域インパクトを高められます。既存クラブは支援と連携を通じて新たな価値を共創できます。

今年度から定期開催されているガバナー主催のクラブサポートミーティングは、単なる報告会ではなく戦略的支援の場として活用してください。ガバナーや地域リーダーには次の役割を期待します。

- 戦略提案者：クラブごとの3年目標設計を支援する。
- 調整者：地域内のリソースや成功事例を結びつける。
- 伴走者：実行段階での課題解決を共に行う。

数字は重要ですが、数字を生むための「仕組みづくり」と「人の巻き込み」がより重要です。ガバナーや地域リーダーの戦略的な関与が、クラブの自律的な成長を促します。

クラブサポートミーティングは、地域とクラブが互いに学び合い、実行力を高めるための貴重な機会です。まずはベースラインの整理と3年目標（3-Year Rolling Goals）の共有をお願いします。必要であれば私が説明会に伺い、実務的な支援を行います。皆さまのご協力と積極的な参加を心よりお願い申し上げます。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 長戸 はるみ（横浜東RC）



ポリオ根絶活動に多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

ロータリーの友2月号に「参加して良かったポリオ根絶活動」との特集がロータリー公共イメージコーディネーターと共同特別企画として掲載されました。全国から届いたポリオ根絶関連の投稿の中、当地区の亀ヶ谷純子さん

（横浜港北RC）の手記が取り上げられています。亀ヶ谷さんはロータリーの友 地区代表委員としてもご活躍され、2017年以来インドにおける4回のワクチン投与活動に続き、現在はパキスタンでの活動に毎年参加されています。「参加して良かったポリオ根絶活動」と冒頭に掲げ、「チームポリオジャパン（任意団体）」に参加し、忘れられない出会いに感謝します。」と述べられています。



亀ヶ谷さんのご体験から特にパキスタンのポリオワーカーであるフーマさんのことをご紹介します。先の記事にフーマさんと亀ヶ谷さんご一緒の写真が掲載されています。彼女は仕事中に列車事故に遭い、不幸にも両足を失いました。写真では義足を装着して車椅子に座っていますが、それでもなおポリオワーカーやポリオ根絶活動に復帰したいとの強い意志をお持ちです。フーマさんが義足を用い、日常生活を一日でも早く取り戻せるよう私も願って止みません。

チームポリオジャパン事務局の永田雄治さん（West Jordan RC）に依れば、彼女を日本に招いての診察と義足の提供、リハビリを経て、再びヘルスワーカーとして復帰するための計画が目下進行中とのこと。お母様とご一緒の来日になるそうですので、是非皆様からのご支援をお願い申し上げます。入院と診療はチームメンバーの前田直俊さん（坂出東RC／整形外科医）が奉仕、病院費用や義足はチーム内でカンパを集め、ポリオワーカー復帰に向けた

フーマさんの夢を共有し、力強く後押しする輪が始まりました。

他に当地区の中川俊彦さん（横浜西RC）と、今回初めて谷川公一さん（横浜西RC）がパキスタンでのポリオ投与活動に参加されました。

谷川GNは「ポリオ投与活動とは別に展開されている『水』の確保に関する支援と組み合わせることで、現地の理解と信用を得て行く手法は手堅い効果を期待できる。また現地、約23万人のポリオワーカーに要する人件費からも、ポリオ根絶がいかに大きな国際事業であるのかを改めて実感させられた。」と仰います。

ポリオ根絶の趣旨を理解し、ポリオ月間に限らず支え続ける意義をロータリー会員は忘れないでください。引き続きパキスタンとアフガニスタンでのポリオ根絶活動に更なるご支援とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

ロータリーにおける公共イメージ向上とブランドリソースセンターの活用 第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 笹山 義弘（加治木RC）



ロータリーの活動は、地域社会や世界に対して多くの価値ある奉仕を生み出しています。しかし、その活動が十分に知られていない場合、社会からの理解や共感、そして新しい仲間を得る機会を失ってしまう可能性があります。だからこそ、いま「公共イメージの向上」はロータリーにとって極めて重要なテーマとなっています。

公共イメージとは、単に広報を行うことではありません。ロータリーがどのような理念を持ち、どのような奉仕を行い、社会にどのような価値を提供しているのかを、分かりやすく、統一された形で社会に伝えていく取り組みです。これにより、地域社会の信頼と理解を高めるだけでなく、将来の会員となり得る人々にロータリーの魅力を伝えることにもつながります。

そのために重要となるのが、ロータリーのブランドを正しく理解し、統一感をもって発信することです。ロータリーは世界的な組織であり、国や地域が違って共通の理念と価値観を共有しています。そのイメージを社会に対して一貫した形で発信することが、ロータリー全体の信頼性を高めることにつながります。

この取り組みを支える有効なツールが、My ROTARY内にある「ブランドリソースセンター」です。ブランドリソースセンターには、ロータリーのロゴの正しい使用方法、ポスターやチラシ、SNS用の画像素材、広報ツールなどが豊富に用意されています。これらを活用することで、各クラブが専門的なデザイン技術を持たなくても、ロータリーらしい統一された広報物を作成することが可能になります。例えば、例会案内、奉仕活動の告知、地域イベン

トへの参加案内などにブランドリソースセンターの素材を活用することで、視覚的にも「ロータリーらしさ」が伝わり、社会に対して信頼感のある発信ができます。また、SNSやホームページでの情報発信においても、ブランドの統一はロータリーの認知度向上に大きく寄与します。

ロータリー公共イメージコーディネーターおよび補佐としては、各クラブの皆様がこのブランドリソースセンターの活用を積極的に推進し、ロータリーのブランドを大切に情報発信を広げていきたいと考えています。具体的には、ブランド活用の理解を深めるための研修や資料提供、実際の広報物作成の支援などを通じて、クラブの広報活動をサポートしていくことが重要です。

ロータリーの価値ある活動を、社会に正しく、そして魅力的に伝えることは、未来のロータリーをつくる大切な一歩です。一人ひとりの会員が「ロータリーの顔」であるという意識を持ち、ブランドを意識した発信を行うことで、ロータリーの公共イメージはさらに高まり、地域社会とのつながりも一層強いものとなるでしょう。

今こそ、My ROTARYのブランドリソースセンターを活用し、クラブ全体でロータリーブランディングを推進していくことを提案いたします。



コーディネーターNEWS2026年4月号
地区HP掲載 QRコード



新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう (敬称略・クラブ順)

尼崎東



本田 智
造園
3/25入会

芦屋



早田 裕哉
生命保険
2025/11/12入会



山本 悠
一般弁護士
2025/11/12入会

甲子園



芳川 悦子
税理士
3/18入会

柏原



足立 龍男
建築材料MD
4/3入会

宝塚武庫川



近藤 隆彦
医療管理
4/1入会

神戸



家次 恒
医療検査機MD
3/26入会

神戸東



大江 智也
不動産販売
3/3入会

三木みどり



久語 拓馬
自動車販売
2/2入会

洲本



亀谷 直高
商業銀行
4/1入会

豊岡



岡本 秀一
新聞発行
3/13入会

ご寄付ありがとうございます (敬称略・クラブ順)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



近藤 誠人
(芦屋)



浅木 幸三
(神戸)



日笠 秀樹
(神戸)



池原 伸直
(神戸)



木下 学
(神戸)



西本 誠實
(神戸)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



小林 一也
(神戸東)



尾上 克具
(神崎)



池田 雅子
(上郡佐用)



柳原 義宏
(上郡佐用)



西浦 克治
(豊岡)



宮光 世裕
(甲子園)

ポール・ハリス・フェロー



池田 育嗣
(神戸)



小泉 康史
(神戸)



森本 真弥
(神戸)



須藤 明彦
(神戸)

ご寄付ありがとうございます (敬称略・クラブ順)

米山功労者(8回)

米山功労者(4回)

米山功労者(2回)

米山功労者(1回)



田中 晶
(豊岡)



工藤 恭孝
(神戸東)



尾上 克具
(神崎)



永井 久晴
(姫路中央)

ご冥福をお祈り申し上げます



故 宮本 博司氏(宝塚武庫川)
2月2日 享年91



故 宮 昭久氏(神戸東)
2月10日 享年66



故 奥田 裕司氏(神戸中)
3月22日 享年70

◆ 3月地区活動記録

日 時	行 事 名	場 所	
5 (木) 20:00~21:00	第5回クラブサポートミーティング	オンライン	
7 (土) 13:30~15:30	第1回地区史編纂委員会	神戸ポートピアホテル	
	2025-26年度地区大会 (～3/8)	神戸ポートピアホテル	
10(火) 16:00~18:00	第3回社会奉仕小委員会	オンライン	
11(水) 16:00~18:00	ロータリー財団各奨学金 書類選考会	神戸三宮東急REIホテル	
12(木) 14:00~	第46回RYLAセミナー (～3/15)	国民宿舎小豆島	
	15:00~17:00	2026-27年度 第2回社会奉仕委員会委員長会議	地区事務所会議室
14(土) 14:00~18:30	第6回米山記念奨学委員会および2025学年度奨学生修了式・歓送会	第一楼	
	13:30~17:30	2026年会長エレクトラーニングセミナー (PELS) (～3/15)	ホテルモントレ姫路
17(火) 16:00~17:30	2026-27年度 第1回ロータリー財団委員会委員長会議	地区事務所会議室	
	20:00~21:00	第6回行動計画委員会	オンライン
20(金・祝) 14:00~18:00	ロータリー財団各奨学金 面接選考会	神戸三宮東急REIホテル	
21(土) 13:00~15:00	2026-27年度地区補助金関係担当委員長会議	神戸ポートピアホテル	
	15:00~17:00	第4回補助金小委員会	神戸ポートピアホテル
22(日) 10:00~12:00	第9回青少年交換小委員会	レンタルスペースジエム神戸元町	
	13:00~16:00	青少年交換第7回来日生・第5回派遣候補生オリエンテーション	レンタルスペースジエム神戸元町
	13:30~16:30	第4回職業奉仕出張勉強会	豊岡市民会館
	14:00~18:00	第7回RLI委員会	レンタルスペースジエム神戸元町
25(水) 18:00~20:00	公共イメージ委員会主催 メディア交流会	神戸三宮東急REIホテル	
27(金) 18:00~19:30	第5回同期会 勉強会	神戸三宮東急REIホテル	
28(土) 13:00~17:30	第5回補助金小委員会+第3回社会奉仕小委員会	神戸ポートピアホテル	
29(日) 10:00~17:00	2026年次期幹事ラーニングセミナー	ホテルモントレ姫路	
30(月) 16:00~18:00	第5回クラブ管理運営委員会	神戸三宮東急REIホテル	
	18:30~19:30	第2回VTT小委員会	オンライン

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ 2026年3月会員数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数											グループ	クラブ名	例会数	会員数												
			7月1日(期首)		3月の入退会		3月末		本年度累計								7月1日(期首)		3月の入退会		3月末		本年度累計						
			総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減				うち女性	総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	増減	うち女性
尼崎	尼崎	4	25	3	0	0	24	3	0	0	1	0	-1	0	東播第一	明石	3	34	2	0	1	34	2	1	0	1	0	0	0
	尼崎北	3	37	1	0	0	39	1	2	0	0	0	2	0		明石東	3	44	4	0	0	44	4	1	0	1	0	0	0
	尼崎東	3	63	5	1	0	64	6	2	1	1	0	1	1		明石北	3	38	0	0	1	40	1	4	1	2	0	2	1
	尼崎西	3	43	4	0	0	43	4	1	0	1	0	0	0		小計	116	6	0	2	118	7	6	1	4	0	2	1	
	尼崎南	4	34	7	0	0	35	7	1	0	0	0	1	0		高砂	3	29	2	0	2	27	2	1	0	3	0	-2	0
	尼崎中	3	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0		東播第二	加古川	3	73	1	0	1	72	1	1	0	2	0	-1
小計	212	20	1	0	215	21	6	1	3	0	3	1	加古川中央	4	55	2	0	0	53	2	3	0	5	0	-2	0			
阪神第一	伊丹	3	29	0	0	0	30	0	2	0	1	0	1	0	高砂青松	3	37	4	0	0	39	4	2	0	0	0	2	0	
	川西	3	25	3	0	0	24	2	0	0	1	1	-1	-1	加古川平成	2	14	3	0	0	17	3	3	0	0	0	3	0	
	川西猪名川	3	16	4	0	0	18	5	2	1	0	0	2	1	小計	208	12	0	3	208	12	10	0	10	0	0	0		
	西宮イブニング	3	10	2	0	0	11	2	1	0	0	0	1	0	東播第三	三木	2	50	1	0	0	49	1	0	0	1	0	-1	0
小計	80	9	0	0	83	9	5	1	2	1	3	0	小野加東	3	36	0	0	0	37	1	1	1	0	0	1	1			
阪神第二	西宮	4	54	1	0	0	53	1	2	0	3	0	-1	0	北条	4	34	2	0	0	35	3	1	1	0	0	1	1	
	芦屋	3	44	0	0	0	47	0	3	0	0	0	3	0	西脇	4	42	1	0	0	42	1	0	0	0	0	0	0	
	甲子園	4	44	4	1	0	44	5	2	1	2	0	0	1	三木みどり	3	30	2	0	0	31	2	1	0	0	0	1	0	
	西宮夙川	3	27	3	0	0	28	4	1	1	0	0	1	1	小計	192	6	0	0	194	8	3	2	1	0	2	2		
	芦屋川	4	26	4	0	1	27	4	2	0	1	0	1	0	淡路	洲本	4	28	1	0	1	29	1	3	0	2	0	1	0
	西宮恵美寿	3	19	3	0	1	20	2	2	0	1	1	1	-1	南淡路	2	21	5	0	0	22	5	1	0	0	0	1	0	
小計	214	15	1	2	219	16	12	2	7	1	5	1	津名	4	30	2	0	1	33	2	6	0	3	0	3	0			
阪神第三	宝塚	3	42	13	0	0	44	14	0	0	1	0	2	1	あわじ中央	3	15	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	
	宝塚ユニバース ロータリー衛星クラブ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	小計	94	8	0	2	99	8	10	0	5	0	5	0			
	三田	3	10	0	0	0	12	0	2	0	0	0	2	0	西播第一	姫路	4	76	1	2	3	82	1	10	0	4	0	6	0
	篠山	3	36	0	0	0	35	0	0	0	1	0	-1	0	姫路南	5	78	1	5	3	80	3	8	2	6	0	2	2	
	柏原	3	39	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	姫路西	3	59	3	0	1	57	4	1	1	3	0	-2	1	
	宝塚武庫川	3	31	2	0	2	30	2	1	0	2	0	-1	0	姫路东	5	65	4	0	2	65	4	4	0	4	0	0	0	
	三田南	2	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	神崎	2	24	1	0	0	24	1	1	0	1	0	0	0	
	HYOGO REC	4	14	3	0	0	19	4	5	1	0	0	5	1	姫路中央	2	7	2	0	0	10	2	3	0	0	0	3	0	
	小計	178	18	0	2	185	20	12	2	5	0	7	2	小計	309	12	7	9	318	15	27	3	18	0	9	3			
	神戸第一	神戸	4	143	2	1	1	149	3	12	2	6	1	6	1	西播第二	赤穂	3	34	0	0	0	36	0	3	0	1	0	2
神戸東		4	107	3	1	0	108	4	3	1	2	0	1	1	相生	3	24	2	0	0	25	2	2	0	1	0	1	0	
神戸東灘		4	30	6	0	0	35	6	5	0	0	0	5	0	龍野	4	20	1	0	1	19	3	3	2	4	0	-1	2	
神戸南		4	86	0	0	0	87	0	2	0	1	0	1	0	上郡佐用	2	26	7	0	0	26	8	1	1	1	0	0	1	
神戸六甲		3	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	小計	104	10	0	1	106	13	9	3	7	0	2	3		
小計		373	11	2	1	386	13	22	3	9	1	13	2	但馬	豊岡	3	37	1	1	1	30	0	1	0	8	1	-7	-1	
神戸第二	神戸西	3	51	9	0	0	51	9	3	0	3	0	0	0	生野	4	21	1	0	0	22	1	1	0	0	0	1	0	
	神戸須磨	3	37	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0	香住	4	12	0	0	0	13	0	1	0	0	0	1	0	
	神戸垂水	2	19	7	0	1	18	8	2	2	3	1	-1	1	豊岡円山川	5	30	0	0	1	30	0	4	0	4	0	0	0	
	神戸西神	4	29	1	0	0	35	2	6	1	0	0	6	1	和田山	3	20	1	0	0	20	1	1	0	1	0	0	0	
	神戸中	3	30	7	0	1	29	7	0	0	1	0	-1	0	小計	120	3	1	2	115	2	8	0	13	1	-5	-1		
	神戸モーニング	4	22	3	0	0	22	3	1	1	1	1	0	0	合計	66RC (+1RSC※)	2,388	157	12	26	2,438	173	142	22	92	6	50	16	
小計	188	27	0	2	192	29	12	4	8	2	4	2																	

※RSC=ロータリー衛星クラブの略称 ※宝塚ユニバースRSCの会員数は、宝塚RCの会員数に含まれます。

国際ロータリー第2680地区 ローターアクトクラブ 2025年12月末会員数

クラブ名	会員数		クラブ名	会員数	
	総数	うち女性		総数	うち女性
姫路RAC	6	3	柏原RAC	5	2
神戸RAC	5	1	豊岡RAC	3	3
淡路RAC	4	1	芦屋川RAC	4	1
神戸須磨RAC	4	1	加古川中央RAC	3	0
			合計 8RAC	34	12

- ◆ロータリークラブ数 66RC
- 1RSC
- ◆2025年7月1日 RC+RSC会員数 2,388人
- ◆2026年3月末 RC+RSC会員数 2,438人
- ◆2026年3月末 RC+RSC女性会員数 173人
- ◆期首からの増減(RC+RSC) 50人増
- ◆期首からの女性増減(RC+RSC) 16人増

- ◆ローターアクトクラブ数 8RAC
- ◆2025年12月末 RAC会員数 34人
- ◆2025年12月末 RAC女性会員数 12人

※RAC: 2025年12月末の会員数